



加吉だより

加古小学校通信
令和5年9月号
No.17 (333号)

アカツキ ジャパンに学ぶ

校長 吉田 博明

<身長が低いアカツキジャパンの作戦！>

先日まで行われていた、FIBA 男子バスケットボールのワールドカップ。観た人もいるかもしれません。バスケットボールは、加古小学校の体育館にもある、高いところにあるリングにボールを入れて、得点を争うスポーツです。リングが高いので、背の高い人が有利になります。アメリカなどの外国の選手は身長が高く、とても強いチームがたくさんあります。その中であって日本は身長が低く、これまでとても弱いチームでした。

東京オリンピックで、女子日本チームを準優勝に導いたトム・ホーバスさんがヘッドコーチになり、厳しい練習が始まりました。背の低い日本が世界で勝つために、ホーバスコーチが選んだ作戦は、とにかく相手に負けない運動量で勝負すること。バスケットボールの試合時間は40分間。この40分間をひたすら走り通す作戦です。そうすれば、後半、強い相手もスタミナが切れて、勝機がやってくると言います。そしてもう一つ。背が低いので、リングの近くまで行くと背の高い相手選手に囲まれシュートが打てなくなってしまいます。それを解決するために、遠くからシュートを打つ、スリーポイント・シュートで勝負する作戦です。「世界のどのチームより厳しい練習をした。」と、キャプテンの富樫選手は話しました。自分たちのその努力を「信じ」、日本の挑戦が始まりました。

結果は、残念ながら予選リーグを突破できませんでしたが、フィンランド、ベネズエラ、カーボベルデを破ってアジア1位となり、見事パリ・オリンピックの出場権を獲得したのです。

<勉強でも同じこと>

アカツキジャパンが見せてくれた作戦。実は、自分の能力をしっかりと分析し、どうすれば強い相手に勝つことができるのか、その作戦を立てることは、みなさんが毎日やっている勉強も同じことではないでしょうか？自分の弱点はどこだろう？どうしたら、勉強が分かるようになるだろう？これは「とにかく頑張ればいい」という根性論ではなく、冷静に自分の得意な点、弱点を見極め、そこを修正することで勉強が分かるようになるということなのだと思うのです。時間は限られています。やみくもに勉強するのではなく、ポイントを絞って勉強することが大切。自分に合った勉強法を見つけてみましょう。

<2学期は大きな行事が目白押し！>

自分たちでつくる学校行事。2学期最初に取り組みするのは3年生。27日に校外学習へ行きます。学校以外の場所で、学校外の人たちに、きちんとした態度で接することができるか。今までの学習が試される時です。先生に注意されたら負け！自分たちで頭を使って行動します。「今、どう行動するべきか」、しっかり考えましょう。楽しみにしています。